

WE LEAGUE

PROFILE BOOK

PARTNERS

TITLE PARTNER



CUP TITLE PARTNER



GOLD PARTNER/GRASS ROOTS PARTNER



SILVER PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



SOCIAL IMPACT PARTNER



OFFICIAL BROADCASTING PARTNER



OFFICIAL MEDIA PARTNERS



OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER



OFFICIAL TICKETING PARTNER



公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグ

Japan Women's Empowerment Professional Football League

©WE LEAGUE
2025年3月発行

理念
女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

ビジョン
世界一の女子サッカーを。
世界一アクティブな女性コミュニティへ。
世界一のリーグ価値を。

クレド
WE PROMISE

- ・私たちは、自由に夢や憧れを抱ける未来をつくる。
- ・私たちは、共にワクワクする未来をつくる。
- ・私たちは、互いを尊重し、愛でつなげる未来をつくる。

みんなが主人公になるためにプレーする。

WE LEAGUE

サッカーの様々な楽しみ方を提供できる WE リーグでありたい。

WE リーグも4シーズン目を迎えることができました。平素より支えてくださっているパートナー企業、自治体をはじめとするステークホルダーの皆様、スタジアムや放送・配信から応援して下さるファン・サポーターの皆様に、心より御礼申し上げます。

2024年9月にJリーグはもちろん、JFAと一緒に女子サッカーを含むサッカー全体の価値を上げていくことがサッカー界には望ましいと思ひ、WE リーグ3代目チェアの職を受けましてから半年が過ぎようとしています。

今シーズンは、リーグ戦を「SOMPO WE リーグ」、リーグカップ戦を「WE リーグクラシエカップ」として開催。2024年12月29日国立競技場で開催した「WE リーグクラシエカップ」は21,524人のファン・サポーターの皆様に会場にお越しいただき、はじめて女子サッカー、WE リーグに触れていただいた方々もたくさんいたことと思います。

サッカーには様々なカテゴリーがあり色々な楽しみ方があると改めて感じました。WE リーグはそれを発見したり、提供できる存在でありたいと思います。

また、日本の女子サッカー普及の面を考えますと今シーズンも多く試合会場で若手選手の活躍も見られています。また、前半戦終了時点で上位陣は僅差の勝点状況にあり、優勝争いは混戦を極めると思うと、後半戦各地で多くの素晴らしい「作品」が生まれのではないかと期待しています。

また、AFC Women's Champions LeagueやFIFA Women's Club World Cup が創設され、女子サッカーもクラブ単位で世界を目指していくことができるようになりました。日本の強さと競技力の高さが世界の舞台でも発揮されていくことも楽しみです。

WE リーグでは、これからの日本女子サッカーを担っていく選手達のプレーを間近で見ることができます。ぜひスタジアムで試合を観戦いただき、WE リーグならではの楽しみ方を発見していただけたら嬉しく思います。



公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
チェア 野々村 芳和

About WE LEAGUE

WOMEN EMPOWERMENT LEAGUE

わたしたちみんな「WE」が主人公として活躍する社会を目指して

「これは新しい日本のキックオフだ」

この合言葉を胸に、2020年7月1日、「WEリーグ」は設立されました。

正式名称は「Women Empowerment League」。

リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指した

日本初の女子プロサッカーリーグの誕生です。

そして、2021年9月12日。プレーでも、社会への貢献でも、世界一の女子サッカーリーグへ邁進する「WEリーグ」

が開幕。日本女子サッカーの頂点を目指す熱戦が繰り広げられています。

●設立の意義

- 1 日本の女性活躍社会を牽引する。
- 2 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
- 3 日本の女子サッカーの発展に貢献する。
- 4 なでしこジャパンを再び世界一にする。

●名称とロゴ

WEリーグはWomen Empowerment Leagueの略称です。この名称には日本に“女子プロサッカー選手”という職業が確立され、リーグを核に関わるわたしたちみんな(WE)が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。



ブランドモチーフの「●」(ドット)は、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています。

■理念とビジョン

WEリーグは、「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」ことを理念に掲げています。この理念は、3つのビジョンによって支えられています。サッカー事業は「世界一の女子サッカー」を、社会事業は「世界一の女性コミュニティ」を目指し、その両輪を支える事業基盤を整え「世界一のリーグ価値」を生み出していくという構図です。

サッカー事業では、リーグ戦の開催を通して、日本女子サッカー界の環境整備や選手の育成・強化などに取り組み、サッカーを男女ともに楽しめる競技スポーツへと発展させていきます。また、社会事業では、スポーツの枠を超えた様々なステークホルダーとともにコミュニティを形成し、社会課題の解決に向けてアクションを起こしています。それぞれのクラブや選手たちも理念の推進に向けた意思表示を行っており、リーグ一体となって活動していきます。

理念

女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

VISION 1
世界一の女子サッカーを。
(サッカー事業)

VISION 2
世界一アクティブな女性コミュニティへ。
(社会事業)

VISION 3
世界一のリーグ価値を。
(事業基盤)

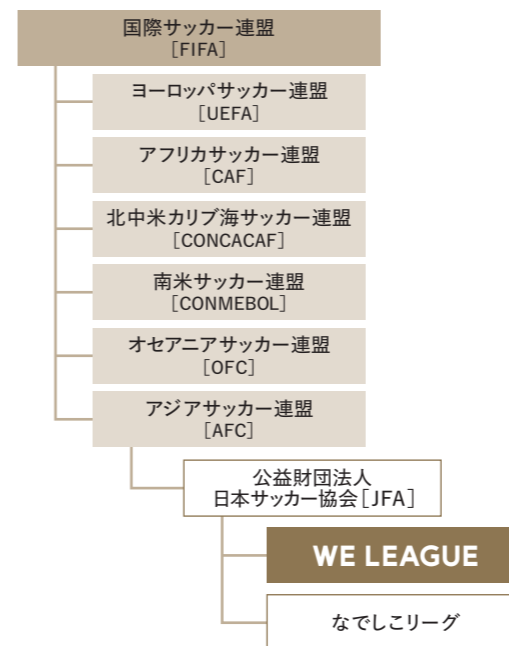
- ① 世界トップ水準の競技力、選手・スタッフの輩出
- ② 日本全国で女子サッカーの競技力のボトムアップの実現
- ③ 日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる

- ① 女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる
- ② スポーツの枠を超えて、個人、団体、企業が集まるプラットフォームとなる

- ① 社会面、競技面の発展を支えるリーグ基盤(財政・組織)を確固たるものとする
- ② リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす
- ③ 多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する

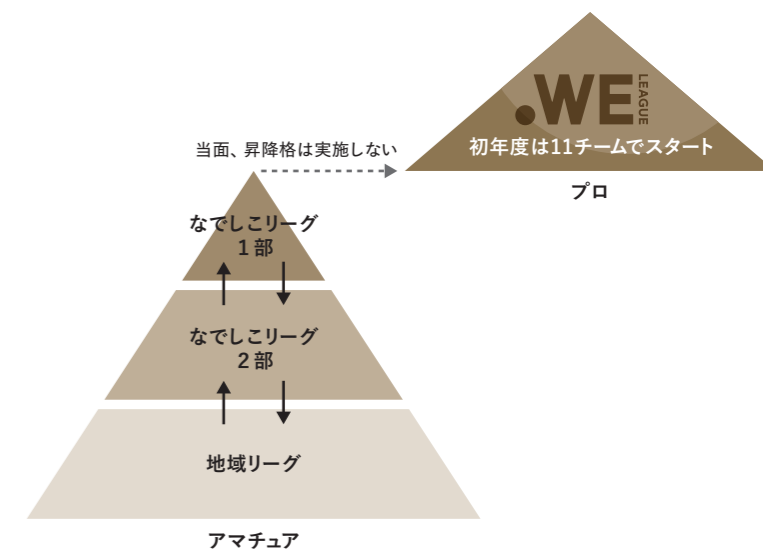
■WEリーグの位置づけ

WEリーグは日本サッカー協会(JFA)の加盟団体です。日本女子サッカーのトップリーグであり、現なでしこリーグの上位に位置するリーグです。



■女子サッカーリーグの構造

WEリーグは11チームでスタートし、複数年は降格無しのエキスパンション型を取ります。2023-24シーズンよりセレッソ大阪ヤンマーレディースが参入し、12チームとなりました。



■法人概要

- 法人名称 (英語表記) 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ Japan Women's Empowerment Professional Football League
- 略 称 WEリーグ (英語表記) WE LEAGUE
- 設 立 日 2020年7月1日
- 事業年度 7月1日～6月30日
- 所 在 地 ■渋谷オフィス (本社) 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア15F ■後楽オフィス 東京都文京区後楽1丁目4-18 トヨタ東京ビル4F
- 理 事 長 野々村 芳和
- 社員総会
- 【WEリーグ会員】 株式会社マイナビフットボールクラブ 浦和レッドダイヤモンズ株式会社 RB大宮株式会社 株式会社エルフェンススポーツクラブ ジェフユナイテッド株式会社 東京ヴェルディ株式会社 株式会社ノジマステラススポーツクラブ 株式会社長野パルセロ・アスレチッククラブ 株式会社新潟レディースフットボールクラブ 株式会社セレッソ大阪 アイナックフットボールクラブ株式会社 株式会社サンフレッチェ広島
- 【特別会員】 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ チェア 野々村 芳和

●理事会 ※2024年9月26日現在

- 【理 事 長】 野々村 芳和
- 【副理事長】 宮本 恒靖
- 【専務理事】 安達 健
- 【理 事】 海堀 あゆみ、窪田 慎二、村松 邦子、大滝 麻未、森本 譲二、山本 英明
- 【監 事】 大塚 則子、福田 雅

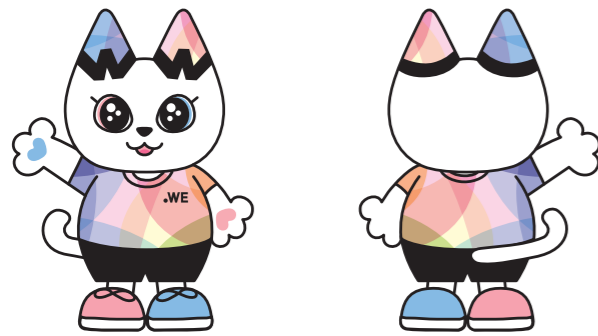
■主な活動

- ① 女子プロサッカーの試合の主催 WEリーグ12クラブ リーグ戦 全132試合・カップ戦
- ② 公式記録の作成、管理及び運用 公式試合、公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理
- ③ 女子プロサッカーに関する諸規約の制定
- ④ 女子プロサッカーの選手、監督及び審判等の養成、資格認定及び登録
- ⑤ 放送等を通じた女子プロサッカーの試合の広報普及
- ⑥ サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
- ⑦ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
- ⑧ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
- ⑨ 機関紙の発行等を通じた女子サッカーに関する広報普及
- ⑩ 女性活躍推進をはじめとする社会課題に関するイベントや研修の実施
- ⑪ その他目的を達成するために必要な事業 女子プロサッカーに関するパートナー、及びサプライヤーとのリレーション構築等

About WE LEAGUE

●WEリーグ公式マスコット「ウィーナ」

9月12日誕生したWEリーグのマスコット「ウィーナ」。WEリーグのウィー、勝者を意味するwinnerをイメージし「ウィーナ」と命名されました。スタジアムの歓声を希望の力に変えて、チームやサポーターに幸運をもたらす存在で、天真爛漫。天性のムードメーカーとして人々を魅了し、笑顔と元気を与えています。リーグ戦などの試合会場にも訪れ、多くのファン・サポーターと触れ合いながら、WEリーグを盛り上げています。



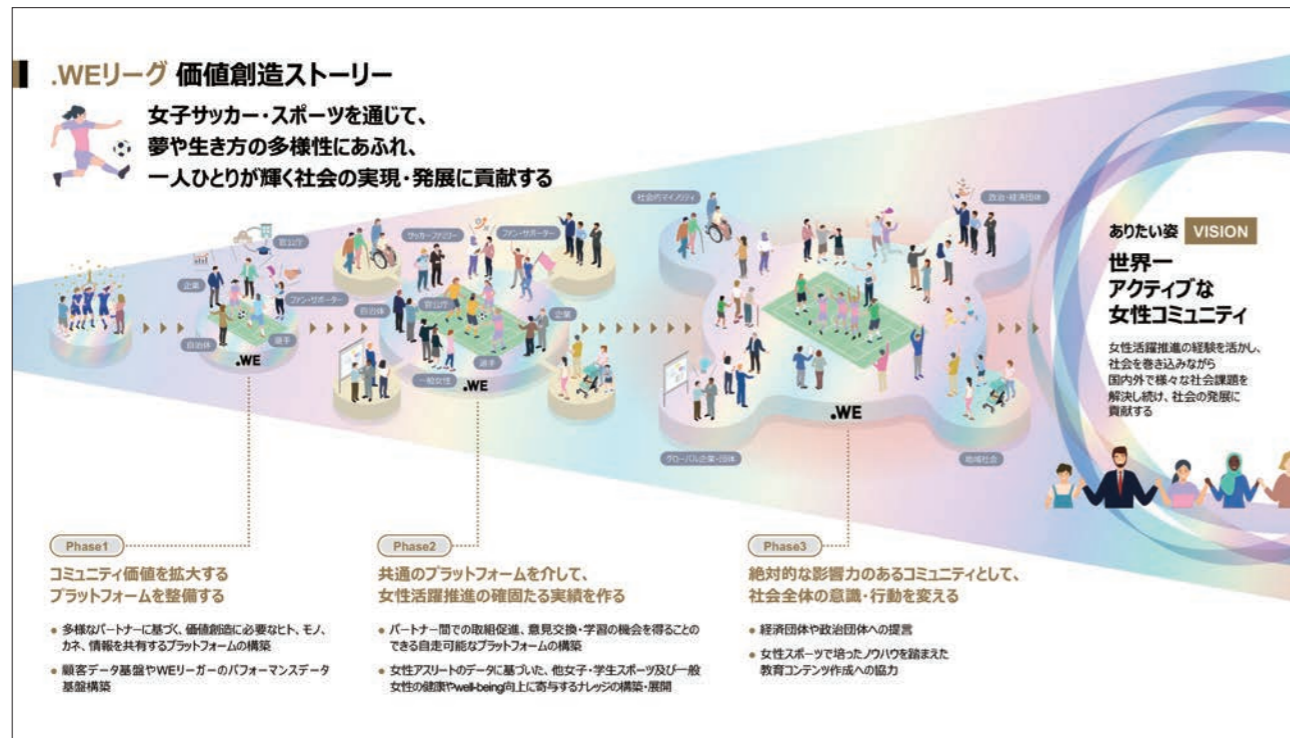
●提携・パートナーシップ

WEリーグはイングランドサッカー協会と日本サッカー協会（JFA）との三者間でパートナーシップ協定を締結。また、スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ「ラ・リーガ」と一般社団法人日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）の三者間でもパートナーシップ協定を締結しました。女子サッカーのさらなる展開に向けて各国と知識や経験を共有し、様々な交流を図っています。



●価値創造ストーリー

WEリーグが女性活躍社会を牽引するエンジンとして、社会変革の実現に向けた活動を支援するソーシャルインパクトパートナーシップ契約をKPMGコンサルティング株式会社と締結。「世界一アクティブな女性コミュニティ」を目指し、協働していく「価値創造ストーリー」をALL WE ACTION DAYで発表しました。



■沿革

2019年	7月	JFA理事会が、「女子サッカープロリーグ設立構想」「女子新リーグ設立準備室の設置」を承認。	
	9月	女子新リーグ設立準備室およびアドバイザーコミッティのメンバーが決定。室長に、佐々木則夫氏（JFA理事、元日本女子代表監督）が就任。	
	2020年	6月	JFAが日本初の女子プロサッカーリーグ創設を発表、名称は「WEリーグ」。
2020年	7月	一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ設立。岡島喜久子氏の代表理事就任を決議、初代チェアに就任。	
	8月	17団体が入会申請。	
	10月	理事会にて、11クラブの入会申請を承認。WEリーグ参入クラブ発表記者会見を開催。	
2021年	3月	国際女性デーに合わせて、11クラブの選手代表者が集まりクレド（行動規範）開発に着手。	
	4月	2021 WEリーグ プレシーズンマッチ開幕。（全22試合、～6/19）	
	6月	国際協力機構（JICA）、JFA、Jリーグ、WEリーグが、サッカーを通じた開発途上地域の発展に向けて連携協定を締結。	
	7月	●法人格を一般社団法人から、公益社団法人に移行。 ●WEリーグタイトルパートナー、ブロードキャスティングパートナー発表記者会見開催。 ●株式会社ウェブシャーク（現：株式会社 Yogibo）と WE リーグがタイトルパートナー契約を締結。大会名称が「YogiboWE リーグ」に決定。DAZN での「YogiboWE リーグ」全試合配信を発表。	
	8月	WEリーガーレド（行動規範）を制定。	
	9月	●Yogibo WEリーグ 開幕プレスカンファレンス開催。 ●社会事業「WE ACTION」を発表、キックオフミーティング開催。 ●WEリーグアンセム『WE PROMISE』を発表。春畑道哉さんが作曲。	
	2022年	2月	Yogibo WEリーグ優勝トロフィー「Women Empowerment Trophy」が完成。制作は菅原工芸硝子。
	3月	WEリーグ、ラ・リーガ（スペインのプロフェッショナルサッカーリーグ）、なでしこリーグが三者間でパートナーシップ協定を締結。	
	5月	INAC神戸レオネッサが2021-22 Yogibo WEリーグ優勝。初代チャンピオンに。	
2022年	6月	●WEリーグアウォーズを初開催。INAC神戸レオネッサGK山下杏也加選手が初代最優秀選手賞（MVP）に。初代得点王は三菱重工浦和レッズレディース菅澤優衣香選手（出場20試合/20得点）、フェアプレー賞は三菱重工浦和レッズレディース、MOST IMPRESSIVE WE ACTION DAYはちふれASエルフェン埼玉が受賞。 ●WEリーグが「令和3年度JOCスポーツ賞女性スポーツ賞」を受賞。	
	8月	2022-23 WEリーグカップ開幕。	
	9月	●2023-24シーズンよりセレッソ大阪堺レディースのWEリーグ参入が決定。 ●第二代 WE リーグチェア（理事長）に高田春奈氏が就任。	
	10月	2022-23 WEリーグカップ閉幕。三菱重工浦和レッズレディースがWEリーグカップ初代王者に。	
	11月	WEリーグ、イングランドサッカー協会、JFAがパートナーシップ協定を締結。	
	2023年	1月	皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会で日テレ・東京ヴェルディベレーザが優勝。
		2月	セレッソ大阪堺レディースが4月1日より「セレッソ大阪ヤンマーレディース」として活動することが決定。
		3月	「審判員交流研修プログラム」でイングランド審判員がWEリーグ3試合を担当。
4月		WEリーグ賛助会員制度「WE SUPPORTERS」開設。	
6月		●三菱重工浦和レッズレディースが2022-23 WEリーグ優勝。 ●WEリーグアウォーズを開催。三菱重工浦和レッズレディース安藤梢選手が最優秀選手賞（MVP）。得点王は日テレ・東京ヴェルディベレーザ植木理子選手（出場19試合/14得点）、フェアプレー賞は三菱重工浦和レッズレディースが受賞。新設された最優秀主審賞は小泉朝香氏、最優秀副審賞は高橋早織氏が受賞。 ●WEリーグ、渋谷区連携協定に調印。渋谷オフィス開設。	
8月		2023-24 WEリーグカップ開幕。10月14日に決勝戦が等々力競技場で行われサンフレッチェ広島レジーナが優勝。クラブ初タイトルを獲得。	
10月		●2023-24 WEリーグカップ決勝の会場でWEリーグ公式マスコット「ウィーナ」お披露目。 ●情報発信拠点「Home of .WE」を渋谷に開設。	
11月		●AFC Women's Club Championship 2023 - Invitational Tournament 開幕。三菱重工浦和レッズレディースが参加して3連勝で決勝進出。 ●2023-24 WEリーグ開幕。 ●Women's Leagues ForumにWEリーグが参加。初代理事会メンバーに高田春奈チェアが就任。 ●第1回「WE DIALOG」開催。	
2024年		1月	皇后杯 JFA 第45回全日本女子サッカー選手権大会 INAC神戸レオネッサが優勝。
		2月	「ALL WE ACTION DAY」を初開催。ソーシャルインパクトパートナーであるKPMGコンサルティング株式会社と協働で策定した「価値創造ストーリー」を発表。
		5月	●2023-24 WEリーグ、三菱重工浦和レッズレディースが優勝。2連覇達成。AFC女子チャンピオンズリーグ2024/25への参加が決定。 ●AFC Women's Club Championship 2023 - Invitational Tournamentで三菱重工浦和レッズレディースが優勝。
		6月	WEリーグアウォーズを開催。三菱重工浦和レッズレディース清家貴子選手が最優秀選手賞（MVP）、得点王（出場22試合/20得点）を受賞。フェアプレー賞は三菱重工浦和レッズレディースが受賞（3年連続3回目）。最優秀主審賞は小泉朝香氏、最優秀副審賞は山本真理氏が受賞。
	7月	●SOMPOホールディングスとWEリーグがタイトルパートナー契約を締結。大会名称が「SOMPO WE リーグ」に決定。 ●2024 WEリーグ・なでしこリーグ新人研修会開催。2024シーズンからなでしこリーグとの合同開催。	
	8月	2024-25 WEリーグ クラシエカップ開幕。	
	9月	●2024-25 SOMPO WEリーグ開幕。 ●第三代WEリーグチェア（理事長）に野々村芳和氏が就任。	
	10月	AFC女子チャンピオンズリーグ2024/25 グループステージ突破。三菱重工浦和レッズレディースが準々決勝へ。	
	12月	●2024-25 WEリーグ クラシエカップ ノックアウトステージ決勝を国立競技場で開催。サンフレッチェ広島レジーナが優勝。2連覇達成。 ●WEリーグ公式戦での最多入場者数記録を21,524人に更新。	

About WE Clubs

日本女子サッカー発展の拠点となるWEクラブ

記念すべき開幕シーズンは、北は仙台、南は広島まで、9都県から11クラブがWEリーグに加入しました。内訳は、なでしこリーグから9クラブ、女子チーム新設が2クラブです。それまで男子チームのみを保有していた大宮アルディージャとサンフレッチェ広島は、WEリーグ設立をきっかけに女子チームを新設しました。

各クラブは、WEリーグ参入基準に則り、15名以上の選手たちとプロ契約を結んでいるほか、アカデミーチームの創設を進めるなど、日本女子サッカーの強化・育成・普及を牽引する存在です。そして、WEリーグの理念である多様性社会の実現に向けて、理念へのコミットメントを記したWEステイメントを策定し、地域コミュニティの核として「WE ACTION DAY」の活動など具体的な施策に取り組んでいます。また2023-24シーズンよりセレッソ大阪ヤンマーレディースが参入し12クラブ体制となりました。



WEクラブ一覧 [2024-25シーズン]

- 1 マイナビ仙台レディース
- 2 三菱重工浦和レッズレディース
- 3 大宮アルディージャVENTUS
- 4 ちふれASエルフェン埼玉
- 5 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
- 6 日テレ・東京ヴェルディベレーザ
- 7 ノジマステラ神奈川相模原
- 8 AC長野パルセイロ・レディース
- 9 アルビレックス新潟レディース
- 10 セレッソ大阪ヤンマーレディース
- 11 INAC神戸レオネッサ
- 12 サンフレッチェ広島レジーナ



ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

- 1 千葉L
- 2 フクダ電子アリーナ/ゼットエーオリブスタジアム
- 3 千葉県市原市、千葉市
- 4 ジェフユナイテッド株式会社
- 5 取締役 嶋山 正人
- 6 1992年

7 地域のママさんの要望で活動を始めた女子チームをJリーグ開幕に伴い、ジェフユナイテッドの下部組織にして1992年に発足しました。2000年に日本女子サッカーリーグ参戦。2009年に1部昇格。なでしこリーグカップ優勝1回。WEリーグには初年度より加盟しました。中1からミセスまで約100名を擁するレディース部門のトップチーム、千葉県唯一のプロクラブとして、千葉県女子サッカーの普及発展に寄与するとともに、社会で活躍する女性の育成にも力を入れています。地域の皆様に元気、楽しみ、幸せを感じていただけるクラブを目指します。



日テレ・東京ヴェルディベレーザ

- 1 東京NB
- 2 味の素フィールド西が丘
- 3 東京都北区、板橋区、稲城市、日野市、多摩市、立川市
- 4 東京ヴェルディ株式会社
- 5 代表取締役副社長 森本 譲二
- 6 1981年

7 1981年、読売サッカークラブの女子チームとして創設しました。2000年度より日テレ・ベレーザ、2020シーズンより、日テレ・東京ヴェルディベレーザに名称を変更しました。『ベレーザ』とはポルトガル語で『美人』を意味します。これまで国内リーグ優勝17回、皇后杯(全日本女子選手権)優勝16回、国内リーグカップ優勝6回のタイトルを獲得しました。トップチーム登録選手の大半を輩出している育成組織である『メニーナ』は、現在中学1年生から高校3年生までが所属しており、トップチームへの昇格とともに世界に通じる選手の育成を目指しています。



ノジマステラ神奈川相模原

- 1 N相模原
- 2 相模原ギオンスタジアム
- 3 神奈川県、相模原市、座間市、綾瀬市、海老名市
- 4 株式会社ノジマステラスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 馬場 正臣
- 6 2012年

7 2012年2月、株式会社ノジマの女子サッカー部として発足しました。神奈川県初のなでしこリーグ1部昇格チームとなり、2017年には第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。2018年にはなでしこリーグ1部で3位入賞しました。現在は、2021年に発足した日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」に参戦しています。県内唯一の女子プロサッカークラブとして、「輝く」シンボル=STELLA(イタリア語で「星」)を目指します。



AC長野パルセイロ・レディース

- 1 AC長野
- 2 長野Uスタジアム
- 3 長野県長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村、佐久市
- 4 株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
- 5 代表取締役社長 鷲澤 幸一
- 6 2010年

7 チームの前身は大原学園JaSRA女子サッカークラブです。2009年シーズン終了後に、AC長野パルセイロの女子チームとして移管され、AC長野パルセイロ・レディースが誕生しました。主な戦績は、2015年なでしこリーグ2部優勝。2016年なでしこリーグ1部3位。国内屈指のサッカー専用スタジアムである「長野Uスタジアム」をホームスタジアムとし、なでしこリーグで高い集客実績を誇ります。また、下部組織から代表候補選手を輩出する成果が出始めており、北信越地域の少女に夢と希望を届け、地域・日本の女子サッカーの普及発展に貢献することを目指しています。スタジアムにご来場いただいた皆様、地域の皆様に対し、懸命に戦っている姿をお見せし、勇気と元気の源、夢や希望をお届けしたいと思います。



マイナビ仙台レディース

- 1 マイ仙台
- 2 ユアテックススタジアム仙台
- 3 宮城県仙台市
- 4 株式会社マイナビフットボールクラブ
- 5 代表取締役社長執行役員 本峰 陽一
- 6 2021年

7 東日本大震災により休部した東京電力女子サッカー部マリーゼが移管し、2012年ベガルタ仙台レディースが発足しました。2017年に株式会社マイナビとタイトルパートナー契約を締結しマイナビベガルタ仙台レディースとなりました。2020年10月にWEリーグへの参入が正式決定。2021-22シーズンからは「マイナビ仙台レディース」とクラブ名を改め、活動をスタートしました。また、クラブコンセプトを「日本でいちばん、"ひと"が育つクラブへ」を合言葉に、クラブにかかわる一人ひとりが、女子プロサッカー選手というキャリアパスを切り拓く先駆者であるという自覚を持ち、サッカーを通じて人間性を育みながら、成長を追求し続けていきます。



三菱重工浦和レッズレディース

- 1 浦和
- 2 浦和駒場スタジアム
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 浦和レッドダイヤモンズ株式会社
- 5 代表取締役社長 田口 誠
- 6 2005年

7 1980年に誕生した「本太レディース」、1998年に派生した「浦和レイナス」(後にさいたまレイナス)を引き継ぐ形で2005年に「浦和レッドダイヤモンズレディース」が発足しました。2009年、2014年、2020年となでしこリーグ優勝3回。2021年3月には「三菱重工浦和レッズレディース」へ呼称を変更しました。WEリーグに参入後は2022-23、2023-24シーズンで連覇しました。「健康で活力のある「スポーツのまち さいたま」を推進するさいたま市にあって、プロ化した三菱重工浦和レッズレディースは「みる」スポーツの担い手としてこれまで以上の役割を果たし、地域を超え日本の女子サッカーの発展、さらにはWEリーグを目指す女性活躍社会の実現に寄与していきたいと考えています。



大宮アルディージャVENTUS

- 1 大宮V
- 2 NACK5スタジアム大宮
- 3 埼玉県さいたま市
- 4 RB大宮株式会社
- 5 代表取締役社長 原 博実
- 6 2021年

7 1969年に結成された「電電関東サッカー部」が母体となり、1998年に大宮アルディージャが発足しました。「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します。」という理念のもと、地域の発展に貢献できるような活動を続けています。2021年、より一層「社会貢献・地域貢献」できるクラブ」となるために、新たに女子チーム「大宮アルディージャ VENTUS」を設立しました。母体となった「FC十文字 VENTUS」が掲げてきた「女性が輝ける未来へ」というビジョンを受け継ぎ、サッカーを通じて女性が活躍できる社会を実現するため活動を続けていきます。



ちふれASエルフェン埼玉

- 1 EL埼玉
- 2 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
- 3 埼玉県狭山市、飯能市、日高市、熊谷市
- 4 株式会社エルフェンスポーツクラブ
- 5 代表取締役社長 鈴木 康之
- 6 2016年

7 1985年に狭山市で「アゼリアFC」地域の少女チームとして発足し、長い間女子サッカーの普及と発展に取組んできました。地域の皆様から多大なるご支援を受け、日本の女子サッカーの新たな歴史を刻む一員として、地域の皆さまと共にWEリーグの理念に沿って女子サッカーの発展と女性活躍社会に貢献することを目指しています。クラブの拠点エリアである狭山市、飯能市、日高市、熊谷市とはホームタウン協定、蔵市とはサポータータウン締結させていただいており、埼玉県からも女子サッカーに特化したクラブとして、力強いご協力を賜り活動を進めています。ちふれASエルフェン埼玉は、このような女性アスリートの可能性を信じ、更なる成長を支えてくださる皆さまと共に、性別や年齢を超えたより多くの皆様が、女子サッカーというスポーツを通じて、感動や夢を感じていただけることを目的に、活動を行っています。



アルビレックス新潟レディース

- 1 新潟L
- 2 デンカビッグスワンスタジアム、新潟市陸上競技場
- 3 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町
- 4 株式会社新潟レディースフットボールクラブ
- 5 代表取締役社長 山本 英明
- 6 2002年

7 Jリーグ・アルビレックス新潟の女子チームとして2002年に創設しました。2006年になでしこリーグ1部へ昇格して以降、トップカテゴリで戦い続けています。皇后杯準優勝4回。2019年には、株式会社アルビレックス新潟レディースとして分社独立し、2021年からWEリーグに加盟しました。女子サッカー界の頂点を目指すだけでなく、社会人としても新潟へ貢献できる人材を育成・輩出することとともに、地域活動や企業訪問を通してアルビファミリの輪を広げていくことを目指します。



セレッソ大阪ヤンマーレディース

- 1 C大阪
- 2 ヨドコウ桜スタジアム
- 3 大阪府大阪市、堺市
- 4 株式会社セレッソ大阪
- 5 代表取締役社長 森島 寛晃
- 6 2022年

7 2010年にセレッソ大阪レディースU-15が発足、1期生16名で活動開始しました。2013年にチャレンジリーグに参戦に合わせてセレッソ大阪レディースに改称。2013年からなでしこリーグに加盟し活動しました。2023年時点で1期生2名が所属し、セレッソ大阪の下部組織から育てた選手を中心にチームを構成しています。



INAC神戸レオネッサ

- 1 神戸
- 2 ノエビアスタジアム神戸
- 3 兵庫県神戸市
- 4 アイナックフットボールクラブ株式会社
- 5 取締役 瀧川 豊史
- 6 2001年

7 2001年4月に神戸で誕生し、2005年にLリーグ参入1年で1部へ昇格しました。2010年に全日本女子サッカー選手権大会(現:皇后杯)にて初のタイトルを獲得し、2011年に念願のリーグ初優勝を達成しました。「神戸から世界へ」をコンセプトに世界で闘える選手の輩出、また女子サッカーのさらなる飛躍を目指し日々取り組んでいます。



サンフレッチェ広島レジーナ

- 1 S広島R
- 2 エディオンピースウイング広島
- 3 広島県広島市
- 4 株式会社サンフレッチェ広島
- 5 常務取締役 定本 晴路
- 6 2021年

7 サンフレッチェ広島では、一般社団法人日本女子プロサッカーリーグが設立する「WEリーグ(Women Empowerment League)」の理念に賛同し、ここ広島から「女性の社会進出・男女の平等」を発信していくために、参入申請を行い、2020年10月、WEリーグから承認いただきました。サンフレッチェ広島レジーナは、クラブ理念「サッカー事業を通じて夢と感動を共有し地域に貢献する」に基づき、サッカーを通じて女性活躍社会のシンボルとして活動し、競技に臨んでいく姿を見せることで地域の皆さまに勇気を与えられる存在になることを目指します。

【凡例】①略称②ホームスタジアム③ホームタウン④法人名⑤実行委員⑥チーム創設年⑦クラブの変遷

About Football

世界一の女子プロサッカーリーグを目指して

■年間スケジュールについて（概略）

- 9 ● ●WEリーグクラシエカップ開幕/SOMPO WEリーグ開幕
- 10 ● ●*AWCL開幕
- 11 ● ●皇后杯 JFA全日本女子サッカー選手権大会開幕
- 12 ● ●WEリーグクラシエカップ決勝
- 1 ● ●SOMPO WEリーグウインターブレイク(1月～2月)
◎皇后杯 決勝
- 2 ● ●
- 3 ● ●SOMPO WEリーグ再開
- 4 ● ●
- 5 ● ●AWCL決勝
● ●SOMPO WEリーグ閉幕
- 6 ● ●WEリーグアウォーズ
- 7 ● ●
- 8 ● ●

*AWCL=AFC Women's Champions League

■WEリーグ 優勝トロフィー 「Women Empowerment Trophy」

リーグ戦の王者に贈られる優勝トロフィーは、女性の障壁として例えられる「ガラスの天井」から着想を得て、私たち自身が壊したガラスからつくられています。制作は、初代岡島チェアと世代の異なる WE リーガー 3 名がそれぞれぶつかってきたガラスの壁をサッカーボールで壊すことから始まりました。壊れたガラスの破片は、菅原工芸硝子株式会社が培ってきた廃棄ガラスのリサイクル技術を活用し、女性職人の手で再度成形されました。ガラスの破片を重ねながら、熱を加えてねじることによって、世界一のリーグを目指す WE リーグの「上昇する力」を表現しています。女性の未来と可能性の象徴として生まれ変わったトロフィーは「Women Empowerment Trophy」(ウーマンエンパワメントトロフィー)と名付けました。



■リーグ戦について

●大会名称	SOMPO WEリーグ [英語表記:SOMPO WE LEAGUE]
●主催	公益財団法人日本サッカー協会、 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●試合会場	原則ホームクラブのスタジアム
●開催期間	原則9月～翌年6月の春秋制
●参加チーム数	12クラブ
●大会方式	ホーム&アウェイ方式による 2回戦総当たりのリーグ戦
●試合数	132試合(全22節)
●開催概要	90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が 決しない場合は引き分けとする。 ・勝点 勝利：3点、引き分け：1点、敗戦：0点 ・年間順位の決定 リーグ戦が終了した時点で、勝点合計の多い チームを上位とし、順位を決定する。 ただし、勝点と同じ場合は、以下の順によって 順位を決定する。 1. 得失点差 2. 総得点数 3. 当該チーム間の対戦成績 (イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数) 4. 反則ポイント 5. 抽選 ※抽選は、理事会が必要と判断した場合のみ実施される
●表彰	優勝：賞金2,000万円 Women Empowerment Trophy 2位：賞金1,000万円 3位：賞金 500万円
●放映	DAZNおよび各クラブホームタウンのテレビ局



■WEリーグカップについて

●大会名称	2024-25 WEリーグ クラシエカップ [英語表記：2024-25 WE LEAGUE Kracie CUP]
●主催	公益財団法人日本サッカー協会、 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ
●試合会場	■ ノックアウトステージ準決勝 PEACE STADIUM Connected by SoftBank (長崎県) ■ ノックアウトステージ決勝 国立競技場 (東京都)
●開催期間	■ グループステージ 2024年8月31日(土)～11月6日(水) ■ ノックアウトステージ準決勝 2024年12月8日(日) ■ ノックアウトステージ決勝 2024年12月29日(日)
●参加チーム数	12クラブ
●大会方式	■ グループステージ AFC Women's Champions League 2024/25 (AWCL) 出場チーム (2023-24 WE リーグ 優勝チーム) を除く、WE リーグ 11 チーム を 3 グループに分け*、各グループで 2 回戦 総当たり (ホーム&アウェイ方式) のリーグ 戦を行う。 各グループの 1 位 (3 チーム) と AWCL 出場 チームの計 4 チームがノックアウトステー ジに進出する。 *各グループ分けはクラブ代表者による抽選により 決定。 ■ ノックアウトステージ グループステージを勝ち上がった 3 チーム と AWCL 出場チームの計 4 チームにより、 準決勝、決勝を行う。 なお、組み合わせについてはグループス テージ終了後に抽選を行い決定する。
●表彰	優勝：賞金1,000万円 WEリーグカップ 2位：賞金500万円
●放送・配信	■ グループステージ WEリーグ公式YouTube、FIFA+ ■ ノックアウトステージ準決勝・決勝 BSテレビ東京で生放送 「テレビ東京スポーツ」 YouTubeチャンネルにてLIVE配信



■皇后杯について

女子サッカーの日本一を決める皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会。
WE リーグのほか、なでしこリーグ、地域代表など全 48 チームが出場し、トーナメント形式で優勝を争います。



■AFC女子チャンピオンズリーグについて

今シーズン、新たに創設された AFC 女子チャンピオンズリーグ (AWCL)。
アジア各国を代表するクラブチームがグループステージを戦い、各グループ上位 2 チームおよび 3 位のうち成績上位 2 チームがノックアウトステージへ進出。日本からは三菱重工浦和レッズレディースが初代女王を目指し、WE リーグを代表し戦っています。



About WE ACTION

WE ACTION

WEリーグは、選手やクラブ、パートナー企業など多様なステークホルダーと共に、WEリーグの理念にある多様性社会の実現に向けた社会事業活動を「WE ACTION」として取り組んでいます。日本ならではの社会課題を解決していくことを目指して、わたしたちみんな(WE)で行動(ACTION)を起こしていきます。



WE ACTION

【WE ACTION ロゴについて】
WEリーグのWが渦の中心にあって、周囲に波紋が広がる様子を表しています。

WE ACTION MEETING

●女子アスリートが直面する課題解決へ向けての施策を実施
選手、クラブ、リーグ、そしてWEリーグパートナーやメディアが参加し、スポーツ界を中心としたジェンダーの問題や多様性に関する社会課題に取り組むWE ACTION MEETING。初年度からオンラインやオフラインで実施してきました。第1回～第3回は、女性がスポーツを続ける上で直面する課題をリスト化。4つの問題が浮かび上がります。

- ① 「母頼りが多すぎる問題」
- ② 「日本の女子の自己肯定感が低すぎる問題」
- ③ 「女性は10代でスポーツをやめちゃう問題」
- ④ 「女性コーチは約3割問題」

第4～5回は上記4つについて、問題点や解決案など様々な角度から議論が進みました。続く第6～7回は、4つの課題を含めた「女子アスリートが安心・安全に競技ができる環境を整える」ことについてをディスカッション。実際に行っている施策を挙げながら、具体的な取り組みについて考えました。

毎回、熱のこもった時間となるWE ACTION MEETING。女性アスリートがより輝くための施策実現に向けて、今後も活発な意見交換と議論が進められていきます。

WE ACTION MEETINGで目指すもの

- スポーツ界を中心としたジェンダー・多様性に関する社会課題の発見
- WEリーグをプラットフォームとしたフィールドの異なるステークホルダーのネットワーキング
- (対パートナー)従来のスポーツスポンサーシップ概念を超えた新たな関係の構築＝協働
- (対パートナー)サッカー事業以外の協賛価値の創造
- (対メディア)活動メンバーに内包することによるフットボール側面以外のWEリーグの新たな認知・訴求



2024年1月23日に第6回 WE ACTION MEETINGを開催しました。WEリーグクラブスタッフ、WEリーグパートナー企業、他競技団体、WEリーグ事務局スタッフ等から集まった計30名が、約2時間にわたり“女子アスリートが安心・安全に競技ができる環境を整える”をテーマにグループワークショップを行いました。

選手について

●女子プロサッカー選手契約制度

JFAは、WEリーグ設立に伴い、女子プロリーグや選手に対応するために「女子プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則」を新設。本規則は、男子同様に統一契約制度(プロA～C契約に基づく制度)が設けられたほか、クラブでの育成促進を目的にトレーニング補償金制度が導入されました。また、女性特有のライフイベントである妊娠・出産への配慮として、活動再開時は登録ウインドー外でも登録可能等の内容も盛り込まれました。

審判員について

●女性審判員で試合を運営

WEリーグでは女子1級、1級の資格を持つ女性審判員を中心に試合を運営しています。また、実力が認められた審判員は男子の国際大会の他、JリーグやJFLの試合も担当しています。JFAは2008年より審判員やインストラクターの国際経験を積むため、海外のサッカー協会や連盟と審判交流プログラムを提携。国際交流や国際経験の機会創出に注力しています。WEリーグでも審判交流プログラムを実施。2023-24シーズンはオーストラリアサッカー連盟より審判員を招聘しました。

スタッツで振り返るWEリーグ

●攻撃

2023-24シーズンのWEリーグにおける1チーム1試合平均得点は1.24得点。同シュート本数は10.64本と欧米リーグと比較すると得点率はやや少ない傾向ですが、1試合平均のパス成功率は77%と高く、各国に劣らない数字を残しました。また、同クロスの成功率は35%と高い結果となっており、ピンポイントクロス、コンビネーションからのクロスを含む、サイドを起点とした攻撃(アタッキングサードでの崩し)はWEリーグの魅力。その一方でシュート精度の向上は課題となっています。

Attacking	得点 (1チーム 1試合平均)	ゴール 期待値 (xG)1チーム	シュート 本数 (1チーム 1試合平均)	クロス (1試合平均 /成功率)	パス (1試合平均 /成功率)	F1/3への パス本数 (1試合平均 /成功率)	深い位置への パス成功 (1試合平均)	ボール ロスト (1試合平均)	ボールロスト位置 (1試合平均)		
									D1/3	M1/3	F1/3
.WE JPN 23-24	1.24	1.33	10.64	13.47 / 35%	439.69本 / 77%	54.15 / 56%	5.88	133.43	21.66 16%	58.42 44%	52.70 39%
23-24 ※7試合時点	1.18	1.33	10.90	13.85 / 33%	453.19本 / 77%	55.06 / 57%	5.53	135.95	21.80 16%	60.59 40%	52.83 39%
USA 2024 ※11試合時点	1.37	1.52	10.05	11.96 / 31%	350.86本 / 78%	40.51 / 61%	5.43	102.09	20.36 20%	40.03 39%	41.04 40%
ENG 23-24	1.65	1.72	10.67	13.09 / 33%	401.25本 / 81%	43.68 / 64%	7.32	103.12	20.71 20%	40.22 39%	41.43 40%
FRA 23-24	1.81	1.75	10.61	11.85 / 32%	372.51本 / 78%	43.36 / 61%	5.59	107.20	18.21 17%	43.44 40%	44.80 42%
GER 23-24	0.88	0.85	10.91	12.82 / 31%	366.19本 / 77%	44.61 / 58%	5.07	112.96	19.99 18%	46.13 41%	45.99 41%

●守備

女子サッカーにおけるプレー強度は年々高くなっており、ハイプレス傾向にあります。その中で、WEリーグが極めて高い数字を残しているのが、ボール奪取率です。1試合平均102.57回。これは各国を大きく上回る数字になりました。同時に、イエローカード、レッドカードの少なさもWEリーグの特徴です。選手たちがひたむきに懸命にプレーをしながらも、フェアプレーを続ける姿は日本の良さ。大人も子どもも安心して試合を見ることが出来る美しさ、クリーンさもリーグを象徴するものになっています。

Defending	プレス インテンシティ (PPDA)	ファウル (1試合平均)	イエロー カード (1試合平均)	レッド カード (1試合平均)	ボール 奪取 (1試合平均)	ボール奪取位置(1試合平均)			デュエル(1試合平均)	
						D1/3	M1/3	F1/3	守備時	ルーズ ボール
.WE JPN 23-24	9.29	7.03	0.42	0.01	102.57	40.55 40%	47.97 47%	14.05 13%	70.58	36.38
23-24 ※7試合時点	9.26	6.72	0.51	0.01	105.63	41.17 39%	50.27 48%	14.18 13%	73.47	35.58
USA 2023 ※11試合時点	8.30	9.45	1.46	0.04	77.78	31.92 41%	32.36 42%	13.50 17%	67.49	24.73
ENG 23-24	9.75	7.56	1.38	0.05	81.10	33.15 41%	34.00 42%	13.95 17%	69.97	26.80
FRA 23-24	9.39	9.86	1.49	0.07	83.89	36.30 43%	35.53 42%	12.06 14%	82.78	27.01
GER 23-24	8.64	10.27	0.86	0.02	84.70	35.61 42%	36.87 43%	12.22 14%	75.05	31.06

WE ACTIONの構図 [コレクティブインパクト構造]



参考：WEリーグパートナー構図 [ピラミッド型]



WE ACTION DAY

理念推進活動を行う「WE ACTION DAY」。クラブや地域の特性を生かしながら、リーグが大切にする理念をみんなで考え、体現するために様々な活動を行っています。2023-24 シーズンは、1クラブ1回の実施に加え、リーグ+全クラブが同日に活動を行う「ALL WE ACTION DAY」も実施。海外でも初



サッカー教室in延岡市九州にWEリーグを広めよう！ [マイ仙台]



レッズレディーススキズフェスタ supported by三菱重工 [浦和]



ノーマライゼーションの理解を深めるブラインドサッカー&手話体験会 [大宮V]



育成年代の普及に貢献する「子供たちに夢や希望を」 [EL埼玉]



ホームタウン内の新小学1年生に定規プレゼント [千葉L]



児童養護施設の子もたちとの国際交流イベントinタイ [AC長野]



ホームタウン交流(公開練習・激励会)&クリーン活動 [東京NB]



児童養護施設交流やCPサッカー体験 [N相模原]



スポーツとキャリアをテーマにしたトークイベント [新潟L]



自分自身の身体を理解する「生理とスポーツについて」 [C大阪]



選手と一緒にウォーキングフットボールを楽しもう！ [神戸]



「女性がサッカーを続ける環境」についてトークセッション [S広島R]

GK体験&夢について考える「REAL WE LIFE—パーソルグループ×WEリーグ 共同企画イベント

2024年4月21日、サッカー少女&少年を対象にした「REAL WE LIFE—パーソルグループ×WEリーグ 共同企画イベント—海堀あゆみと一緒にGK体験&夢について考えよう！」を実施しました。イベントは海堀コミュニティオーガナイザー(現理事)とともにオリンピックであるパーソルキャリア株式会社山田優梨菜さんと夢について考えるセッション。EL埼玉で強化・育成に携わる山郷のみさんとGK体験の二部構成で実施しました。



WEリーグ事務局スタッフを対象としたクラシエ株式会社による漢方教室

2024年3月12日、リーグスタッフに向けた「クラシエ株式会社による漢方教室」が開催されました。シルバーパートナーであるクラシエ株式会社。WEリーグの理念に共感し、WEリーグに関わる様々なコミュニティとともにクラシエが目指すポジティブな未来のために掲げる「CRAZY KRACIE」の活動を進めていきたいという想いから実現。約40名のスタッフが参加しました。



About Partnership

WEリーグパートナーの協力のもと各クラブで様々な施策を展開



YouTube「WE LIFE ~WEリーグの主人公たち~」はこちら→



【パーソルグループ】女性スポーツ・アスリートの支援を通じた社会的価値の創出を目指して、WEリーグを応援しているパーソルグループ。WEリーグに関わる人々や選手にスポットライトをあてたドキュメンタリー特別動画シリーズ「WE LIFE ~WEリーグの主人公たち~」を協働制作しているほか、リアルイベントも実施しています。



【旭化成ホームプロダクツ】育成年代の女子選手たちを対象に、WEリーグの公式戦さながらの選手入場演出やMIP選出などを行った「エルフェン未来応援プロジェクトマッチ」presented by 旭化成ホームプロダクツを2024年5月に開催。育成年代の選手たちに「輝く未来があること」を感じてもらえる場をWEリーグとともにつくりたいです。



【ダイハツ工業】WE LEAGUE AWARDS において全12クラブに特別賞としてボールとマーカー・コーンの贈呈。



【SOMPOグループ】子どもや保護者を対象に災害から身を守るための知識や安全な行動を身に付けてもらうことを目的とした『防災ジャパンダプロジェクト』。2024年10月にC大阪のWE ACTION DAYとしてWEクラブと初の協働開催をしました。今後も、WEリーグとともに社会課題解決、社会価値創造に向けた取り組みを行っていきます。



【読売新聞東京本社】2024年7月よりオフィシャルメディアパートナーズ契約を締結した読売新聞東京本社。女子プロスポーツの先頭を走っているWEリーグの飛躍に期待しながら、WEリーグと連携し、スポーツを通じた女性の活躍推進の取り組みにも力を入れていきます。

X-girlがクラブにユニフォームを提供

WEリーグは、設立当初からビーズインターナショナルとオフィシャルサプライヤー契約を継続してきました。2024-25シーズンは6チームが同社のレディースストリートウェアブランド「X-girl」のユニフォームを着用してSOMPO WE リーグに参加しています。WEリーグの理念と、X-girlの「GIRL'S MOVEMENT」を体現するユニフォームデザインには、『人と違うことを恐れない。ファッションも、夢も、自分らしい個性を放ちながら生きていく。一人一人が自分の個性を愛し、自分らしい選択を誇ることを応援する』という想いが込められています。

